

県北地域における「いわて夢あおい」露地不織布被覆の効果

【成果概要】

- (1) 県北地域で露地栽培している極早生品種「いわて夢あおい」に不織布でトンネル被覆(写真1)をすると、草丈が伸びます(図1)。
- (2) 不織布被覆の期間は3月下旬の萌芽期に開始し、被覆資材に頂部が接しない5月中旬前後までとします。
- (3) 不織布でトンネル被覆の開花前進効果は、採花盛期で1~3日程度です(表1)。



写真1 トンネル栽培風景

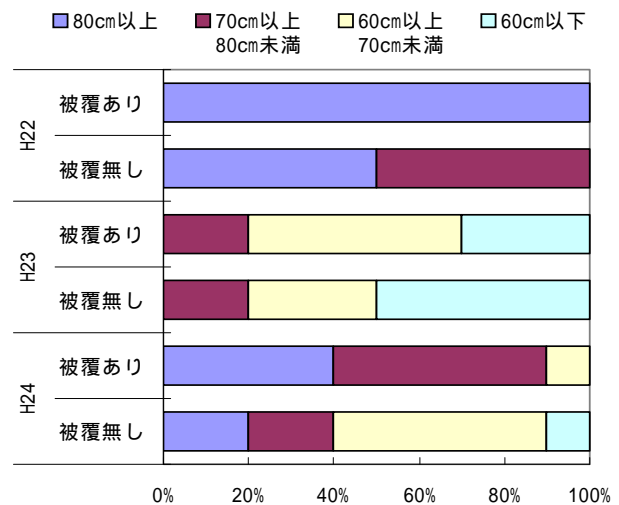


図1 被覆の有無による切り花長の差

表1 被覆の有無による生育ステージの差

試験区	被覆	萌芽期	展葉期	側芽発生期	発蕾期	採花期		
						始期	盛期	終期
H22	被覆あり	4/3	4/12	6/5	6/10	7/13	7/18	7/26
	被覆無し	4/5	4/19	6/7	6/14	7/15	7/21	7/28
H23	被覆あり	-	-	5/20	6/5	6/27	7/8	7/16
	被覆無し	-	-	6/1	6/7	6/30	7/10	7/18
H24	被覆あり	4/11	4/14	6/8	6/19	7/12	7/18	7/24
	被覆無し	4/17	4/24	6/10	6/20	7/14	7/19	7/27

【留意事項】

- (1) 県北農業研究所(標高240m)で、不織布「パオパオ90」を使用した場合の結果です。
- (2) トンネル被覆中の薬剤散布は、トンネルを開けて散布します。
- (3) 葉の先端が不織布に接触すると葉が傷みます。生育に応じてトンネルを引き上げ、それでも接触する場合はトンネルを撤去しましょう。
- (4) 開花前進効果は露地トンネル栽培における不織布被覆より保温効果が高いハウス栽培が有効です。

担当研究室

県北農業研究所 園芸研究室 〒028-6222 九戸郡軽米町大字山内23-9-1 TEL. 0195-47-1070 FAX. 0195-49-3011